別紙２　プレゼンテーション・デモンストレーションの内容及び審査の視点

あらかじめ提出した企画提案書の項目1「提案者の会社概要」から項目4「実施体制」の内容について、下表に示す審査の視点に留意しながら必要に応じて実画面を用いて説明すること。
なお、項目2「活用方法」のＡ～Ｉ及び項目3「独自提案」 については、利用者と管理者、両者のデモンストレーションを行うこと。

項目	プレゼンテーション・デモンストレーションの内容	審査の視点
1 提案者の会社概要		
(1)	会社概要	本業務に対する提案者の熱意や信頼性が感じられたか。
(2)	自治体への取組み姿勢	
(3)	提案のポイント	
2 活用方法（該当機能：機能要件一覧「A～I」）		
A	リッチメニュー	職員が専門知識を持っていない場合でも容易に操作できるか。 利用者にとって使いやすいものとなっているか。 視認性及びデザインに優れているか
B	アンケート機能	
C	メッセージ配信機能	
D	チャットボット機能	
E	分析機能	
F	関係人口コミュニケーションツール	職員が専門知識を持っていない場合でも容易に操作できるか。 市外在住者や関係人口が継続的に市と関わる仕組みづくりができているものとなっているか。
G	予約機能	職員が専門知識を持っていない場合でも容易に操作できるか。 LINEを入り口としたスムーズな申請手続き等ができるものとなっているか。
H	申請機能	
I	通報機能	
3 独自提案		
(1)	その他の機能を活用した独自提案について	当市の特性や課題を踏まえ、当市にとって有益な提案がされているか。
4 実施体制		
(1)	実施体制図	本業務を遂行するため、十分な実施体制が確保されているか。
(2)	履行体制	